



元気とタイムリーな情報を提供する 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2020年07月06日 第977号「週刊五十嵐レポート」

従業員は自分の働きを10倍高く考える

従業員の研修で「あなたの会社の従業員1人当たりの純利益はどの位あるか」と聞いてみるとおよそ10倍から20倍の数字を言う。あらゆる業界で行っても近い数字になる。これはどういうことかというと、従業員は、会社はもっと儲かっていると思っている。これをそのまま放置すると不平不満の元になってしまく。「自分はこれだけ頑張っているのに給料が少ない」、「自分はこれだけ努力しているのにボーナスが少ない」などと考える。言い換えると、従業員は自分の働きを10倍高く考えている。こうなると社長が出した経営方針を守らなくなってしまう。

まずは中小企業の利益実態を従業員に正しく教育することになる。中小の黒字企業の1人当たりの粗利益は8,179千円(A)、1人当たりの経費は7,294千円(B)、1人当たり税引き前利益は885千円(C=A-B)。(ランチェスター経営資料より)損益余裕率($C \div A$)=10.8%。平均的な黒字企業では粗利益の9割は経費でなくなり1割が利益として残るだけ(この後税金が差し引かれる)。特に1人当たりの経費を教える。従業員は自分の給料はわかるが他の経費は知らない。企業はそんなに儲かっていないことを教える。

ある卸売業の話。コロナの影響で今期の売上は1割減少となったが、社長はなんとかして夏のボーナスを従業員に支給した。しかし、従業員の反応は良くなかつた。「自分は頑張ったのに…」という空気が生まれた。これからは誤解がないように、1人当たりの粗利益、1人当たりの経費を出して、当社の利益実態を明らかにしようと決めた。

またある会社は、コロナの影響で売上は激減。今はようやく回復基調になった。コロナ期間中を含め、独自の従業員教育を進めている。従業員にも考え方、価値観の違いが分かってきた。厳しい環境に置かれている会社に対し率先して協力してくれる人が出てきた。一方、9時5時だけの人もいる。今回のコロナはマイナス面のことが多かったが、リーダーになる従業員を発見できたのは大きなプラスだった。

従業員だけでなく社長も能力は10倍以上高く見積もっているかもしれない。気をつけないといけない。

ちょっと
気なる出来事

7月5日、東京は4日連続で100人以上のコロナ感染者が出た。これだけ見ると大変なことになったと思われる。

東京都のホームページ、コロナ感染者の情報を見る(7月4日付)

延感染者6,765人、退院回復者5,647人、死者325人、入院者369人、宿泊128人、自宅55人、入院療養等調整246人。現在の感染者は798人。入院者369人のうち重症者は9人。360人は軽・中症者。

重症者のピークは4月29日の105人。現在重症者は減少して9人で増加していない。今の感染者は20代、30代が多く、多くは軽症者。宿泊や自宅療養でおさまる。医療崩壊には至らない。

ホストクラブやキャバクラなどの夜の繁華街に行かなければ恐れることはない。マスク、手洗い、消毒をしていればリスクは少ない。

人はムードで動いてしまう。また東京が危ないと。

日本橋、銀座も発生がない。きちんとルールを守っていれば日常の活動はできる。怖いのは無知。無知による誤解が多い。大丈夫な東京をアピールしよう。



人生という回数券

人生のある場面をカットして、「あのときは楽しかった」「充実していた」「幸せだった」とか言います。そうでないときは虚しいという生き方をしています。

人の寿命は秒数で計算できるのです。そうとらえると、人生とは一秒一秒、回数券が減っていくだけなのです。

だから、ある一秒だけ価値があるということにはなりません。あるときだけが人生の最高の瞬間という話も、成り立ちません。

だったら、どんな一秒でも同じように大事にすれば、すばらしい結果になります。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時~6時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

株式会社五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

